

第14回 あきる野市総合計画審議会 議事録

日 時：令和7年8月8日（金）午後2時00分～午後4時00分

場 所：あきる野市役所 5階 504、505会議室

出席者：会 長	菊地 俊夫	委 員	谷澤 俊明	委 員	菊池 常広
副会長	坂本 秀夫	委 員	齋藤 孝	委 員	寺坂 久美
委 員	小西 フミ子	委 員	安永 勝昭	委 員	里村 初美
委 員	甲野 富和	委 員	松村 博文	委 員	吉田 真人
委 員	小山 正弘	委 員	西村 明彦	委 員	江添 真司
委 員	安藤 卓	委 員	網代 和夫		

1 開会

〔事務局〕

ただいまから、第14回あきる野市総合計画審議会を開催する。

委員の皆さまには、お忙しい中会議にご出席いただき、感謝申し上げます。

本日の会議については、浦野委員、田中委員、野島委員、松村委員、町田委員、あきる野市子ども子育て会議の委員長吉田委員からのご欠席の連絡をいただいている。また、委員1名から遅れて参加の連絡をいただいている。

では、本日の審議会から新しく参加される6名の委員の方を事務局から名簿順に紹介させていただく。

あきる野市防災・安心地域委員会からご参加いただいていた山崎委員に代わり安藤委員、あきる野市青年会議所からご参加いただいていた、三瓶委員に代わり西村委員。

社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会からご参加いただいていた倉田委員に代わり網代委員、市民の代表として新たに委員になられた寺坂委員、里村委員、吉田委員にご参加いただく。よろしくお願ひする。

また、本日は、総合計画審議会事務局として、企画政策課の職員が出席しているほか、「あきる野市・まち・ひと・しごと・創生推進計画」の進捗管理を目的として、商工振興課の職員が同席しているので、よろしくお願ひする。

2 議題等

（1）第2次あきる野市総合計画 令和7年度の施策の進捗管理について

【事務局から、資料（事前送付：「シート1」、「シート2」、「委員からの意見」、「各課からの修正」/机上配布：「委員からの意見（修正）」、「委員からの意見（7.29資料送付後）」、「第2次あきる野市総合計画 令和4～6年度進捗管理シート（実績値・評価区分）」、「第2次あきる野市総合計画後期基本計画策定について」）に沿って説明した。】

〔会長〕

まずはじめに、事前に委員の皆様からいただいた質問や修正提案、各所管課からあった記載内容の修正報告など、事前に送付された各資料について、何かご意見などはあるか。

〔委員〕

シート1については10個近くの質問を書いていたが、4か所疑問が取れないので確認させていただ

く。

1 点目は、第 3 章第 2 節の地域防災リーダーの数についてだが、令和 6 年度の取り組みに明示されているように、高齢化が進みゆく今、やっぱり若い方に積極的に活動に参加してもらう必要があったと思う。回答には、若い方が積極的になってもらうにはどうすれば良いかが書かれていなかった。

2 点目は、目標値の設定の仕方は理解できるが、両方とも実績値と大きく乖離している。シート 1 の 1 8 と 2 6、実績値をどうやって上げるかの決め手は私にはわからないが、その方策はあると思う。

3 点目は、シート 1 の 2 2 番の全国学力テストの各評価の平均正答率。学力テストというのは全国で行うわけだから、学力の測定の一環であることは間違いない。学力低下は一目瞭然であるが、回答ではどうも ICT の活用を重点的に取り上げてはどうかと書かれている。私はデジタル教育重視だったら、熟考する力や記憶の定着が難しいのでないかと懸念している。

〔会長〕

他に意見はあるか。その都度資料の追加があれば、補足してもらいたいと思う。

他になければ、資料を一つ一つ見て行く中で質問があれば、遠慮なく言っていただければと思う。

〔会長〕

続いて、令和 6 年度の施策の進捗管理シートの「総合計画審議会からの意見（案）」欄について、委員の皆様から事前にいただいたご意見を記載しているので、こちらについてご審議いただきたいと思う。

いただいたご意見について、審議会からの意見として、進捗管理シートに記載するかしないか、節ごとに順番に確認していきたい。

なお、特にご意見のなかった節については、「令和 7 年度の取組のとおり進められたい。」としている。それでは、一つ目、シート 1 の 1 0 ページ目、第 4 章第 4 節「高齢者が安心して生活できる福祉の充実」から、事務局の説明をお願いします。

【第 4 章第 4 節「高齢者が安心して生活できる福祉の充実」に対する意見について、事務局から説明した。】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔委員〕

総合計画の中には総合的な方針だけ書いてあるので、人数管理に関するものが行政に多いように思う。そのようなところで人数管理ではなく支援の在り方を目標にするほうが良いのではないか。

例えば自治会の加入の人数や図書館の入館の人数など、行政が人数管理をして支援ができるのか。行政としてどのように支援をしていくのか、その支援の在り方について考えていただきたい。

〔会長〕

量ではなく質的なもの、いわゆる人を見るのが大事になるということだと思う。いかがであるか。この点に関して、審議会の意見として載せると言うことでよろしいか。

〔委員〕

今お話を聞いてその通りだと思った。国際化の満足度に意見が出ているが、目標値 3 0 % に対して数字が達していない。やっている内容は良いが、評価に反映していない。数値による管理はあきる野市だけではない事も難しい。この数値だけではないことを反映させてほしい。

〔会長〕

委員の意見は反映させることでよろしいか。

〔全委員〕

【異議なし】

〔会長〕

続いてシート1の13ページ目、第5章第2節「生涯学習社会の振興」について、事務局から説明をお願いします。

【第5章第2節「生涯学習社会の振興」について、事務局から説明した】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔委員〕

企業の中で生涯学習の研修をやっていたが、沢山のグループができていることは素晴らしいが、毎年10人募集していて、中々結果の返事が来ないために私はもう定員に達して入れていないんだと思っていたが、蓋を開けると参加者は5人だけであった。

講師になっていただいた大学の教授は「若い人が講師になってほしい」とおっしゃっていたが、仲間内で固まっている雰囲気があり、新しく人が加わるのが難しくなっていると感じている。ぜひ子ども世代の人たちが入りたいと思うような環境になっていけばと思う。

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔全委員〕

【異議なし】

〔会長〕

それでは、こちらの内容については、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載する。

続いてシート1の14ページ目、第5章第5節「社会教育の推進」について、事務局から説明をお願いします。

【第5章第5節「社会教育の推進」について、事務局から説明した】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何か補足があればお願いしたい。

〔委員〕

五日市に住んでいる者として、高齢になると距離のある中央図書館まで行かなくなる。そうなったときに中央図書館に涼めるスペースやWi-Fi環境、カフェのような人が集まりやすい場所があっても良いのではないかと思います、記載させていただいた。近年は、ネット化や電子図書化もあり、本を読む人が増えている一方、未だに本を読まない人も多い。そのような状況の中で本の購入や維持管理の必要性について、検討の余地があるのではないだろうか。また、視覚障害者向けの音声サービスが図書館にあっても良いと思う。要は人の集まる場所の開放や提供をどう進めていくかということ意見を出した。

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔委員〕

中学生と高校生の子どもがいるが、姉は図書館をよく利用し、弟はほぼ利用をしない。なぜなら友達とお菓子を食べたり話をしたりする環境が図書館にはないからである。カジュアルに友達と話せる環境が公的な場所であれば、中高生は喜ぶのではないかと思う。

〔会長〕

公共のグループでできるような、そういう在り方があると利用者が増えると思う。他に意見はあるか。

〔委員〕

比較的良好に図書館に行くが、図書館の利用頻度を上げるためにも、交通手段がないため、それを取り巻く環境の論議が必要になる。

〔会長〕

委員の意見を記載するということによろしいか。

それに補足して図書館のワーキングスペースのような、柔軟な図書館の利用の仕方や交通手段の確保などを含めて記載していただければと思う。

〔全委員〕

【異議なし】

〔会長〕

それでは、こちらの内容については、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載する。

続いてシート1の15ページ目、第6章第2節「行政体制・行政サービスの適正化・最適化」について、事務局から説明をお願いします。

【第6章第2節「行政体制・行政サービスの適正化・最適化」について、事務局から説明した。】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔委員〕

市役所とメールのやりとりをするが、「出したら電話で知らせて下さい」と言われた。それは何のためのメールなのかと驚いた。電話恐怖症の人もいることや効率のこと、今時の連絡の仕方を市役所の方にも把握していただきたい。何度か言ったがお願いしたい。

〔委員〕

私もよくメールを送るが、市役所からの連絡が無い。期日を記載すると連絡が来る。メールを確認していただければと思う。対応を早めにしていただければありがたいと思う。

〔会長〕

私は他の自治体がどういうシステムで市民とやりとりをしているかを参考にしたいかと思う。それでは、こちらの内容については、委員の意見を記載するということによろしいか。

〔全委員〕

【異議なし】

〔会長〕

続いてシート1の16ページ目、第6章第4節「協働によるまちづくりの推進」について、事務局から説明をお願いします。

【第6章第4節「協働によるまちづくりの推進」について、事務局から説明した。】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔委員〕

町内会・自治会連合会は防災倉庫を設けていると思うが、宮城県では自治会があったことによって防災倉庫の有効活用ができるようになった。防災倉庫からの防災の備品の配布はどこまでやるのか。その辺について教えていただきたい。

〔委員〕

防災・安心地域委員会による位置づけとしては、自主防災組織にある。防災倉庫については設置要請があって設置している。スコップやヘルメット、ランプなどが入っている。食料品は地域防災課で一括管理していて、管理された場所に運び込む事となっている。

〔委員〕

飲食物は入ってないと思う。災害時に会員と非会員で対応に差をつけることはできない。町内会では一定の相手に声かけが難しいことはあるため、防災訓練は会員だけで行っている。

〔会長〕

組織の連携や結びつきが大事であり、災害時に協力する姿勢につながる。それでは、こちらの内容については、委員の意見を記載すると言うことでよろしいか。

〔委員〕

委員からの意見に「古来」と書いてあるところを「旧来」に変えていただければと思う。「古来」という表現であると、縄文や弥生時代ぐらいの印象を受ける。

〔会長〕

これも記載させていただく。続いて、シート2の1ページ目、第1章第1節「快適で住み続けられる都市づくりの推進」について、事務局から説明をお願いします。

【第1章第1節「快適で住み続けられる都市づくりの推進」について、事務局から説明した】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。委員の意見を記載しようというものだが、委員としても問題ないか。

〔全委員〕

【異議なし】

〔会長〕

それでは、こちらの内容については、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載する。

続いてシート2の4ページ目、第2章第2節「活力ある商工業の振興」について、事務局から説明をお願いします。

【第2章第2節「活力ある商工業の振興」について、事務局から説明した。】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔委員〕

五日市のメインストリートには昼間に開いている店がない。買い物に行こうと思うとイオンになる。沢山の方に聞くと、渋谷が村だったときに五日市は町であったと言われるが、それなら再興すれば良いと思う。少なくともこの1、2年でお店が開いたことは見たことない。だがお祭りがあるときのぎわいを見ると、更に活性化できたら良いと感じる。意見をどこに通せば良いのだろうと思うが、言いに行く場所がない。オープンな意見が通るようなグループが市の中にできたら良いと考える。

〔委員〕

空き家の件から気になっていたが、五日市はお店が盛んだった頃と比べて、空き家が多くなった。インバウンドにしても必ずしも定着につながるわけではない。民泊仲介サービスを活用したような場があると人を呼べて良いのではないか。

〔委員〕

五日市は、商店街の中でもまだ残っている地域である。二宮と雨間、青梅市は無くなった。五日市は店舗と居住地が一体であるため、貸すことが難しくなっている。その辺についてお聞きしたい。

〔委員〕

あきる野でも、過去に13の商店街が点在していたが、今は7つの商店街がかりうじて活動できている状態である。黙っていて人が集まるのはあきる野三大祭りであり、それらにはぎわいがある。商店街は後継者が別の職業への就職や引っ越しによっていなくなることである。店舗だけを貸しても水道や電気がない問題もある。一棟だけ貸すことも相続人との話し合いで難しくなる。貸したくても貸せない住居の問題が一番の課題となっている。目に見えて、変わっていく状況はない。

〔委員〕

トイレや水場整備程度であれば、テナントも可能ではないかと思う。

〔委員〕

共同の場所を作ることの検討はされたが前には進まなかった。

〔委員〕

今までの委員の話を聞いていると、不可能であることから話し始める人が多い。成功しているところなら沢山ある。例えばコンビニエンスストアは自身の土地でなくても成功している。失敗例は簡単な受け答えであり、成功例を分析して町おこしをするべきである。プラスサイドの話し合いをするべきである。

〔会長〕

議題に戻るが、委員の意見を記載してよろしいか。

〔全委員〕

【異議なし】

〔会長〕

それでは、こちらの内容については、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載する。続いてシート2の7ページ目、第2章第4節「消費志向に合わせた都市型農業の推進」について、事務局から説明をお願いする。

【第2章第4節「消費志向に合わせた都市型農業の推進」について、事務局から説明した。】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔委員〕

現在東京都の制度で、有機栽培は地域全体として取り組まないと中々難しい。制度に乗っかると補助が受けられるからやる人もいるが、高く農作物が売れるわけではない。市場に持って行って売れるような環境はこの地域にはない。

〔委員〕

農業によって環境が、化学肥料や農薬によって土地にダメージを与えることがないようにしてほしいと思い、書いた。現時点も大事であるが、未来のことを考えると、少しずつでもチャレンジした方がよいと思う。委員は全体的に取り組むと言ったが、私は全体的でなくとも一人一人の活動が増えたり、都心から有機農業を試したい人が入ってきたらと思っている。小さなチャレンジで少ない失敗をしていくことができないかと思う。

〔委員〕

特別栽培、有機栽培、自然栽培などを他地域から来て行い、周りの農家に迷惑をかけて去って行った人もいる。ある程度の規模で取り組まないと近隣に迷惑をかける。あきる野市には様々な農地問題があり、土地利用の効率の悪さによる後継者不足や、農地を貸す事への抵抗感による農地不足などが挙げられる。

〔会長〕

委員の意見については、意見を踏まえながら記載してよろしいか。

〔全委員〕

【異議なし】

〔会長〕

それでは、こちらの内容については、「総合計画審議会からの意見」として、進捗管理シートに記載する。

続いてシート2の9ページ目、第3章第1節「連帯・交流に支えられた豊かな地域社会の形成と多文化共生社会の推進」について、事務局から説明をお願いします。

【第3章第1節「連帯・交流に支えられた豊かな地域社会の形成と多文化共生社会の推進」について、事務局から説明した。】

〔会長〕

ただいま説明のあった、委員からいただいた意見について、審議会からの意見として記載するかしないか、意見をいただきたいと思う。委員から何かあればお願いしたい。

〔委員〕

地域のコミュニティで、新しい形のコミュニティを市としてどのように調整するのか。企画政策課からは市民との新しい協働の形を模索しているところだと言うことで、ぜひその方向性で進めていただけたらと思う。皆さんでアイデアを出し合ってやっていけたらと思う。

〔委員〕

コミュニティには様々な意味合いがある。そのためコミュニティがどのようなものかをはっきりさせて載せてほしい。

〔会長〕

それでは、こちらの内容については、コミュニティの意味を踏まえながら意見記載することとしてよろしいか。

〔全委員〕

【異議なし】

〔会長〕

それでは、委員の皆様からいただいたご意見の「総合計画審議会からの意見」欄への記載に関する審議は以上となる。

今後、事務局には当審議会からの意見について、各所管課へのフィードバックを行い、各施策を適切に推進していただきたいと思う。

〔委員〕

冒頭にした3つの質問に部長にお答えいただきたい。

〔企画政策部長〕

地域防災リーダーの成り手に若い方をどのように引き込むか書いていないことについて、市の総合防災訓練を毎年やっており、若い家族連れの参加者も多くいる。そのような機会を活用しながらやっていくということで考えている。

男女共同参画社会の満足度については、市民アンケート調査で把握しているが、社会全体の満足度と市の施策としての満足度が混同されている。市の施策に対する満足度を聞いているが、社会全体に対する満足度について答えられているものもある。今後は聞き方について工夫していきたい。

広域連携の推進については、施策そのものが市民の皆さんに理解しづらいところがある。そのため現在実施している広域連携の具体例を示しながら、施策に対する満足度を聞いていきたい。

3つ目の教育の在り方については、一つの選択肢としてICT教育を取り入れるという事があるが、基本的にはアナログなところも含めて教育を深めていく一つのコンセプトとして、やっていくという意味合いで教育委員会は回答をしていると思う。アナログについてもデジタルについても両方取り組んでいくと捉えていただければと思う。

〔委員〕

市の方ではシートにある委員の意見を記載するということだが、記載されていない意見も沢山ある中で、改めて記載していただきたいというものもあると思う。例えば耕作放棄地の面積がZ評価となっているが、調査の難しさは理解している。その上で、現状について伺いたい。

〔委員〕

航空写真と実際に見たものを照らし合わせて、耕作放棄地かどうか確認している。耕作放棄地に見えても所有者は使っていると答えられることがある。そのような側面で難しくなっている。

〔委員〕

100%データが正しくなくても、載せることはできるのではないかと考えているため、記載していただきたいと思う。

〔会長〕

皆さんが意見を出した中で抜け落ちたところがあるが、それは決して無駄にはしないことを承知していただきたい。

(2) その他

次に(2)の「第二次あきる野市総合計画審議会基本計画策定について」、事務局からの説明をお願いする。

【「第2次あきる野市総合計画後期基本計画策定」について、事務局から説明した。】

〔会長〕

事務局からの説明になにかご意見などあればお願いします。

〔全委員〕

【意見無し】

〔会長〕

それでは、後期基本計画の策定については、説明のとおり事務局の方で進めてもらうということよろしいか。

〔全委員〕

【意見無し】

〔会長〕

それでは、以上をもって次第2「議事等」を終わる。

3 その他

〔会長〕

次に、次第3の「その他」であるが、何かあるか。

【事務局から今後の予定のお知らせについて、説明した。】

〔会長〕

他にご意見・質問等がなければ、以上で、本日の議題は全て終了する。

4 閉会

〔事務局〕

それでは、以上で第14回あきる野市総合計画審議会を終了する。